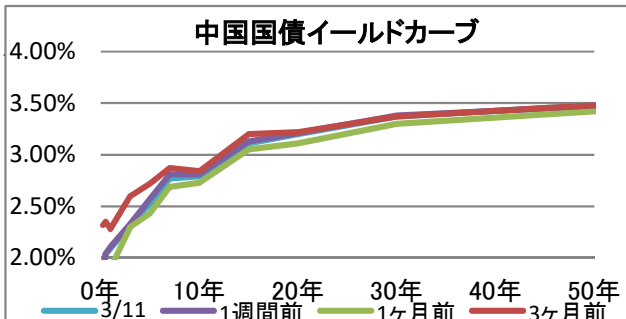
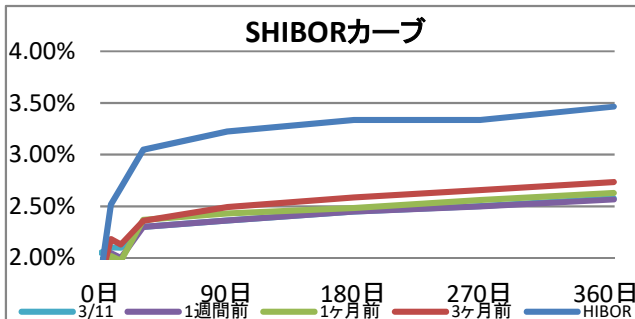


## ①市場概況

基準レート		2022/3/11	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3306	+0.0018
	JPY/CNY	5.4502	-0.0230
SHIBOR	3M	2.3620%	+0.0000%
国債利回り	10年	2.79%	-0.02%
上海総合指数		3,309.75	-137.90



### (1) 概況

国際金融市場では、コロナ感染対応の金融緩和政策が解除に向かう中、ウクライナ情勢とロシアに対する制裁強化による商品価格の上昇による不安定な状況が続いているものの、ウクライナ停戦合意への期待が欧州の株価とユーロを支える展開となった。

中国金融市場では、全人代開催期間中ながら国際情勢や国内でのコロナ感染拡大による経済への影響に対する警戒感や米中金利差縮小による国外資金流入の減少等から株式市場は大幅に下落し、債券市場も上値の重い展開となった。外為市場ではリスク回避的に人民元が買われていたものの、ドル人民元の下値6.31の堅さが確認され、米FOMCでの利上げが確実視されていることからドルが買い戻されており、中国金融市場の世界金融市場との連動性が一段と高まっている印象。

中国では、全人代期間中ながら国内でのコロナ感染拡大や国際情勢緊迫化にも対応が求められる慌ただしい一週間となった。全人代では安定を重視したマクロ経済政策（積極財政と金融緩和）方針が確認され、その一環である中国人民銀行の1兆元の剰余金上納が話題となっていた。また、李首相の全人代閉幕会見は2時間に及び、5.5%経済成長や改革開放政策維持等に対する強い意志と責任感が感じられるものだった。

### (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日3,800億元に対し、新規リバースオペ500億元を実施して3,300億元を吸収。

### (3) 主な経済指標

・PPI (2月) は、前年比+8.8% (1月、+9.1%) と、高水準推移ながら4ヶ月連続で伸びは縮小しているものの、燃料鉱物価格の高騰を主因とする状況に変化はなく、前月比では2ヶ月連続の上昇。ただし、生活品価格の上昇は依然低水準にとどまっている。また、購買価格の上昇幅が出庫価格を上回る状況が続いているものの、上回り幅は縮小している。

・CPI (2月) は、前年比+0.9% (1月、+0.9%) と、食品価格の下落を上回る燃料価格の高騰により小幅上昇となる状況が続いているが、前月比では2ヶ月連続で上昇している。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.0510%	1.9500%	2.0700%	
1W	2.1020%	5.4500%	2.4600%	1.9000%
2W	2.1000%	2.2000%	2.1500%	
1M	2.3000%	2.4200%	2.5500%	2.4100%
3M	2.3620%	2.6000%	2.5000%	2.3500%
6M	2.4500%	3.6600%		2.4800%
9M	2.5030%	2.9000%		2.5600%
12M	2.5780%	2.9200%	2.7500%	2.6000%

中国人民銀行は、四半期末を控えているものの先月末から大量に供給した資金の吸収を進めており、足元金利水準はやや高めでの推移となった。ターム物は1ヶ月が2.4%前後に上昇して出合っているが、1ヶ月を越える期間の出合いは限定的。

NCDも、四半期末要因もあって金利水準はじりじりと上昇していたが、全人代閉幕時の李首相の会見で金融緩和期待が高まると、長めの期間を中心に買いしつかりの展開に転じた。1ヶ月は2.40%前後、3ヶ月物は2.35%前後、6ヶ月が2.45～2.50%、1年が2.60%前後で取引されている。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.03%	0.04%
1W	0.05%	0.08%
1M	0.30%	0.40%
3M	0.60%	0.80%
6M	0.80%	1.00%
12M	1.00%	1.20%

ウクライナ情勢への懸念とほぼ確実となっている米国金融政策変更により、国外からの資金流入が減少し、国内的にも四半期要因から流動性がやや低下してきており、ターム物の金利水準は上昇。ただし、ターム物の出合いは1ヶ月の0.35%前後を除き限定的。

### ③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.90%	1.96%	2.38%	2.54%	2.76%
6M	2.04%	2.04%	2.48%	2.60%	2.84%
1Y	2.09%	2.11%	2.61%	2.70%	2.95%
3Y	2.32%	2.66%	2.97%	3.11%	3.58%
5Y	2.52%	2.85%	3.40%	3.54%	4.28%
10Y	2.79%	3.16%	3.65%	3.81%	4.64%

債券市場では、海外債券市場での利回り上昇や国外資金流入の減少に加え、四半期末を控えて短期市場の資金需給もややタイトとなったことから利回りは上昇していたものの、国内でのコロナ感染拡大や不動産市況悪化懸念による国内景気への懸念がある中、李首相の全人代閉幕会見における金融緩和への言及により利回りは低下に転じている。

イールドカーブは、景気見通し悪化懸念等から長期の利回りが低下する一方、四半期末要因もあって信用債を中心に短期債利回りが上昇しており、総じてフラットニングが進んでいる。クレジットスプレッドは拡大傾向となる中、特に上記により短期で大幅に拡大している。

### ④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	26.0 / 27.0
1M	133.0 / 135.0
3M	355.0 / 360.0
6M	620.0 / 630.0
9M	850.0 / 860.0
12M	1050.0 / 1060.0

対ドル基準レートは6.3306と前週末比+18pipsのドル高元安、対円基準レートは5.4502と同-230pipsの円安元高と、対ドルでの元高推移が続いたがほぼ前週末と同水準で週末を迎えている。国内市場ではリスク回避の資金流入が続いて元高水準での取引が続いていたものの、中国と米国の金融政策の方向性の違いによる両国の金利差縮小により人民元買いの流れも一服しており6.32台に戻している。

先物は、週を通して米中の短期金利水準に大きな変化もなく、国外資金要因も限定的で大きな変化はなかったものの、金曜日に李首相が全人代閉幕会見で金融緩和に言及すると1年物が1,000台半ばまで縮小。

### ⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.16%		1.97%
6M	2.16%	2.42%	2.01%
9M	2.17%	2.45%	2.05%
1Y	2.17%	2.50%	2.06%
3Y	2.42%	2.78%	2.33%
5Y	2.55%	3.02%	
7Y	2.69%	3.21%	
10Y	2.85%	3.39%	

スワップ金利は、短期の基準金利が安定していたことや債券利回りの低下を映じて低下傾向となった。ただし、債券利回りの低下幅は限定的であったことから、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは小幅縮小。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよく読みください。